

総合患者支援センターニュース

〒700-8558
岡山市北区鹿田町2丁目5番1号
岡山大学病院
総合患者支援センター
☎086-223-7151 (代表)
☎086-235-7744 (直通)

Integrated Support Center for Patients and Self-learning
Okayama University Hospital



センターの活動に関しては
ホームページ (<http://www.cc.okayama-u.ac.jp/>)
をご覧ください。

新総轄副センター長ご挨拶

総合患者支援センター総轄副センター長 岩月啓氏

今年度から、太田吉夫副病院長のご転出に伴い、総合患者支援センター（総轄担当）副センター長を拝命いたしました。これまではセンターを、もっぱら利用させていただく立場でしたが、スタッフとして組織に加わり、センターの職員がいかに統率のとれた活動をされているかを知る良い機会になりました。また、ボランティアとして病院機能を支えてくださっている皆様のご活躍を身近に感じることができ、ボランティア活動の精神に感服いたしました。誌面を借りてお礼申し上げます。



岡山大学病院を利用される患者さんや家族にとって、総合患者支援センターはとても重要な窓口機能を有しています。榎野博史岡山大学病院長の Artful and Heartful な病院という言葉の根幹部分を担っています。当センターは、公文教授（前センター長・現顧問）や石井先生（副センター長）のリーダーシップで、徐々に充実した組織となり、今年で10年目を迎えることになりました。高齢化社会を迎えて医療環境は大きく変わりつつありますので、当センター機能も時代のニーズに合わせて発展させる必要があると思います。

私は、愛知県の生まれで、北大を卒業し、浜松医大皮膚科に入局しました。浜松労災病院で内科研修を半年受けたのちに、皮膚科医としてのキャリアをスタートさせ、福島県立医大を経て、2001年（平成13年）に岡山大学病院に着任いたしました。2011年（平成23年）から、副病院長を拝命し、当センターだけではなく、検査部、輸血部、超音波センター、医療安全管理部職員部会、リスクマネジメント、感染防御職員部会、ME 機器センター等の皆様とも一緒に仕事をするようになりました。幸いいずれの部門にも頼りになるスタッフがおられますので、私は各部署の皆さんと病院執行部の橋渡しをすることに徹して、高度な医療を安心・安全に提供し、職員が笑顔で働ける岡山大学病院を目標に責務を果たしたいと存じます。今後とも宜しくお願い申し上げます。

2013年（平成25年）9月吉日





早いもので総合患者支援センター創設以後10年が経過しました。

ご存じのように本院におきましては総合患者支援センターは患者様のケア・サポートを中心に発展してきました。他院におけるような受診予約業務などのいわゆる地域連携に関する業務の整備は若干遅れているのが現状で地域医療機関の皆様方になにかとご迷惑をおかけしていますことをまず持ってお詫び申し上げます。

とはいえ岡田宏基元副センター長、太田吉夫前副センター長のもと徐々に整備が進められ、地域連携システムの導入により、インターネットによる診療情報の交換、FAX診療予約などの整備が進められて地域連携室の形が整ってきました。

一昨年の秋からは岡山大学病院地域連携ネットワークシステムの導入により患者様の同意の下、岡山大学病院の診療録（電子カルテ）の参照が可能となり、紹介医の先生方にご利用いただき、好評でした。このシステムは岡山県が主導して設立された岡山県地域医療連携ネットワーク『晴れやかネット』として全県規模で展開され、病院間では双方向性の情報共有が可能となり、その発展が期待されております。

さらに、岡山大学病院ではオンライン診療予約システムを運用し、開業医の先生方から患者様に待たせることなく、任意の診察日の予約がインターネットで可能となっております。ご活用いただければ幸いです。

また、昨年より地域に根ざした病院として地域の医療機関との前方・後方連携をさらに深め、より円滑な連携を行うことにより皆様方の健康回復、維持ができるように、医療機関の協力を得て『連携医療機関認定証』を発行しています。

今後、さらに地域連携機能強化に向けて様々な課題解決に向けて一歩一歩進めていく所存です。ご意見、ご要望がありましたら遠慮なくお申し出下さい。



総合患者支援センター 10周年記念企画 院内パネル展示

総合患者支援センターでは、本年4月より、10周年記念行事として、総合患者支援センターの業務や関連部署等の紹介をするパネル展示を行なっています。

院内の職員や患者のみなさんに、少しでも総合患者支援センターの役割を知って頂き、活用していただきたいと思っております。

～パネル展示の内容について～

☆4月～8月までは、以下の展示を行ないました。

4月22日～ 医療・福祉・看護相談

5月27日～ 退院支援

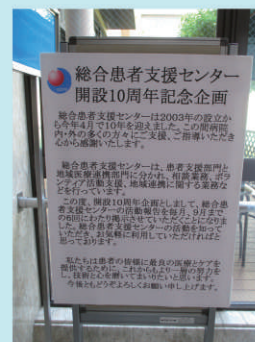
7月1日～ がん相談

7月22日～ ボランティア活動

8月26日～ オストメイト

☆9月以降の展示予定

9月30日～ 専門チーム・地域連携部門



平成25年度第1回 ボランティア研修会

当院では、ボランティアの方が活動しています。患者図書室や外来案内、小児科の遊び相手、園芸等の活動があります。患者様が、安心して通院・入院生活ができるようにとの思いで、日々活動されています。年に3回ボランティア研修会を行っています。

先日、今年度1回目の研修会を行いました。

『よりよいボランティア活動を行うためには』というテーマで、グループワークを行いました。「患者さんに安心してもらえるような移送介助を身につけたい」「図書室やお庭を充実させたい」など、みんなで意見交換をしました。



「歯ッスルフェアー 2013」

～きれいなお口で元気に過ごそう～イベント報告

平成25年6月6日（木）、岡山大学病院で「歯と口の健康週間」にちなんで毎年行っている「歯」に関するイベントを開催しました。内容は、ミニ公開講座や、歯科衛生士によるブラッシング、お子様へのフッ素塗布、歯科外来の看護師による嚥下食の展示、歯科技工士による特殊技工物の展示、チェロとピアノの演奏等、お子さんから大人の方まで参加いただける内容としました。



歯科衛生士によるブラッシングコーナーでは、来ていただいた方に歯科用チェア上で、歯科衛生士によるブラッシングを体験していただきました。「いろんな話も聞けて良かった。岡山大学病院の歯科を受診してみようと思う。」といったご意見もあり、大変好評でした。



ぬり絵コンテストには90枚を超える応募があり、とても独創的で楽しい作品が集まりました。特に元気いっぱい描いてくださったお友達8人に、副院長、副看護部長等から、賞状と賞品をお渡ししました。



チェロとピアノの演奏会は、毎年楽しみに来て下さる方々もおられ、大変盛況な開催となりました。通りがかりの患者さんからも「とても癒される音色に、思わず足を止めて聞き入りました。」と仰っていただき、私共も喜ばしく感じています。

このイベントを通じて、岡山大学病院を知っていただき、多くの方に「歯と口の健康」について関心を持っていただけたらと、願っています。



第10回国立大学医療連携・退院支援関連部門連絡協議会に参加

7月19日（金）・20日（土）に仙台国際センターにて、第10回国立大学医療連携・退院支援関連部門連絡協議会が開催され、総合患者支援センターから医師、看護師、ソーシャルワーカー・事務員が参加しました。1日目は東日本大震災に関する講演があり、2日目は各職種ごとに現状報告や課題について情報交換を行いました。

はじめまして。3月から総合患者支援センターに勤めています、香西と申します。

今迄はずっと介護の仕事をしており、病院は全く初めてです。入職して5ヶ月経ちましたが、まだ全然慣れなくて…大学病院の大きさと、患者さんの多さに戸惑う毎日です。新たな知識を得たり、色々な人との出会いを通じて成長でき、少しでも患者さんのお役に立てればと思います。宜しくお願い致します。



駐車券事前精算機の設置

本年5月30日より、医科外来玄関・歯科外来玄関・入院棟入り口に駐車場の事前精算機が設置されました。これは、駐車場の出口の渋滞を緩和する目的で設置されました。

受診後に、ご案内カウンターや入退院センターで、割引のスタンプを押してもらったあと、事前精算機で精算をして頂きます。精算から2時間まで追加料金はかかりません。

あとは、精算済みの駐車券を出口の機械に入れて頂ければ良いようになっています。

ご使用方法など、不明な点がございましたら、ご案内のスタッフにお尋ねください。



職種紹介

病院内でどのような制服の職員がどのような仕事をしているかを紹介します。

今回は、事務職員についての紹介をします。院内には、二種類の事務職員がいます。

①の写真は、ドクターズクラークと呼ばれる事務職員で診察室で医師の診療の事務的な補佐をしています。

医師が指示した検査オーダーの入力等、行なっています。

②の写真は、受付など医事の業務を行なう事務職員です。外来受付・入退院センター等で業務を行なっています。

どちらの職員も日々、スムーズに患者さんの受診ができるよう、頑張っています。



①



②